

## 12.12 景観

都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺には主要な眺望点及び景観資源が存在し、道路の存在による眺望景観への影響が考えられるため、景観の調査、予測及び評価を行った。

## 12.12.1 道路（地表式又は掘割式、嵩上式）の存在に係る景観

## 1) 調査結果の概要

## (1) 調査した情報

調査した情報は以下のとおりである。

- ・ 主要な眺望点の状況
- ・ 景観資源の状況
- ・ 主要な眺望景観の状況

## (2) 調査の手法

調査は既存資料調査及び現地調査により行った。既存資料調査は既存の文献資料による情報の収集及び当該情報の整理により行った。また、現地調査は写真撮影及び目視により調査を行った。

## (3) 調査地域及び調査地点

調査地域は、都市計画対象道路事業実施区域及びその周辺の範囲で、既存の文献資料等により主要な眺望点が分布する地域とした。また山地に囲まれた地形条件から、より遠方から眺望できるため、一部眺望点は範囲外の地点も追加している。なお、集落や人家等が周囲に存在しない地域は除外した。

調査地点は、主要な眺望点及び景観資源との位置関係及び計画路線の位置などを踏まえ、主要な眺望景観からの景観に変化が生じると想定される眺望点を設定した。調査地点及び調査対象となる眺望景観を図 12.12.1-1 (P12.12-2) に示す。

## (4) 調査期間等

調査期間を表 12.12.1-1 に示す。

表 12.12.1-1 景観の調査期間

調査区分	調査期間
現地調査	平成 28 年 11 月 9 日(水)、11 月 10 日(木)、11 月 16 日(水)
	平成 29 年 1 月 17 日(火)、1 月 26 日(木)
	平成 29 年 4 月 23 日(日)、5 月 19 日(金)
	平成 29 年 8 月 19 日(土)、8 月 27 日(日)